

出資団体の概要(出資団体経営評価・診断表 様式①)

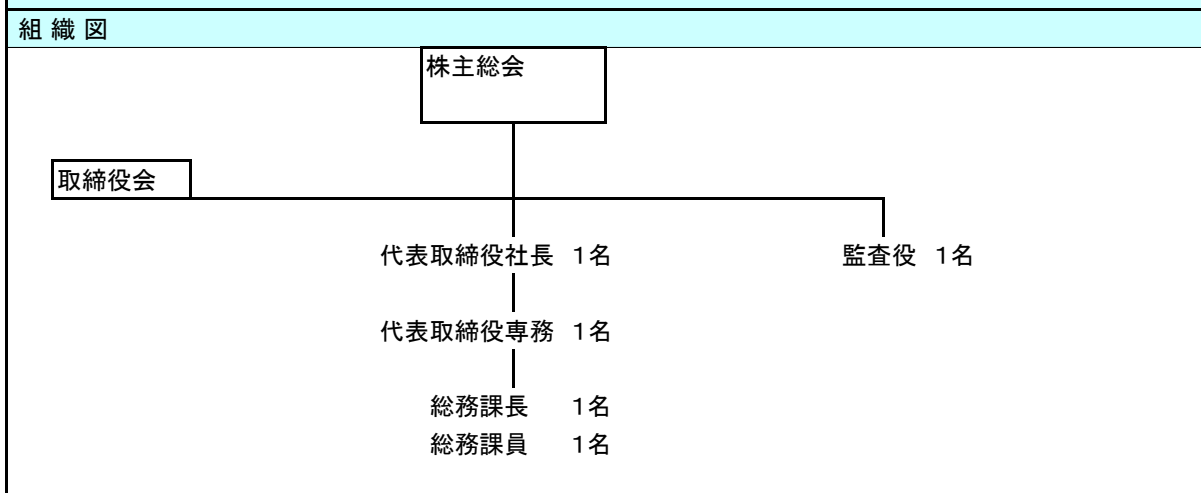
【共通】

直近の決算日: 令和 5年 3月 31日

1. 団体の概要				
団体名	(株) 長崎国際航空貨物ターミナル	設立目的、経緯及び根拠法		
設立年月日	平成4年9月14日	長崎空港を国際・国内航空貨物の物流拠点として整備し、物 人・情報の集積を進め臨空産業、情報産業の国際化等を推 進することによって本県経済の活性化を図るため、長崎空港 内に国際物流センターを建設しようとするものであり、当社は その第1期施設として設立された。国際航空貨物ターミナルの 経営を主な事業として現在に至る。 供用開始:平成6年8月26日 空港管理規則 第7条 輸入促進臨時措置法		
所在地等	〒 856-0816	定款等に定める事業		
	長崎県大村市箕島町593番地8			
	Tel 0957-54-9755			
	Fax 0957-54-9622			
	E-Mail			
県所管課	地域振興 部 交通政策 課			
資本金・ 基本金等の額 (千円)	主な出資者	出資額(千円)	比率(%)	1. 航空貨物ターミナル経営 2. 貨物の荷役、保管及び梱包 3. 店舗、事務所、上屋、倉庫、荷捌施設の管理及び賃貸 4. (通関手続きの代行) 5. (貨物運送取扱事業) 6. (倉庫 業) 7. (航空貨物ターミナル内の売店の経営) 8. (郵便切手 類、印紙類の売り捌き) 9. (荷役用機材及び機器の賃貸) 1 0. 食料品、生鮮食品、衣料品等の販売斡旋、販売 11. (広 告宣伝の請負及びイベントの企画、立案、斡旋) 12. (損害 保険代理店業) 13. (物流に関する調査) 14. (航空貨物代理 店業) 15. (中国語、英語等に係る翻訳、通訳業) ()内は 現在未実施
	長崎県	277,000	25.58	
	長崎空港ビルディング	179,000	16.53	
	日本航空	70,000	6.46	
	大村市	53,000	4.89	
	日本通運外1社	100,000	9.23	
	その他	404,000	37.30	
	総 額	1,083,000	100.00	
ホームページURL	http://www.niact.co.jp/			

2. 組織・人員の状況(3月31日現在)											
役員 (名)	区分	R2	R3	R4	プロパー	派遣 県職員	兼務 県職員	県OB	他自治体	民間	その他
	常勤	3	3	3				1		1	1
	非常勤	9	9	9			1		1	7	
	合 計	12	12	12	0	0	1	1	1	8	1
職員 (名)	R2	R3	R4	正規雇用 うち県OB	派遣 県職員	兼務 県職員	非正規雇用 うち県OB	他自治体	民間	その他	
	2	2	2	1						1	
1人当たり人件費(年度推移)		R2		R3		R4		平均年齢	賞与月数		
常勤役員報酬年額(千円)		2,900		2,450		2,865		65 歳			
プロパー平均給料月額(千円)		222		170		160		23 歳	2.9 月		
1人当たり人件費(R4、年代別)		20代以下	30代	40代	50代	60代以上					
プロパー平均給料月額(千円)		*									
各年代別プロパー数(名)		1									
県からの常勤又は非常勤役員	県の役職				団体での役職				区分		
	地域振興部長				非常勤役員				非常勤		
上記役員以外の顧問等											
県派遣又は兼務職員											

2. 組織・人員の状況(3月31日現在)(続き)



3. 県財政負担の状況(千円)

〈当年度受入額〉		〈当年度末残高〉	
補助金		貸付金残高	
負担金		損失補償・債務保証残高	
委託料			
貸付金			
損失補償・債務保証額			
出資金			

4. 県の政策との関連性

1 政策目標

- LCC等国際航空路線の強化と長崎空港の活性化
- 24時間化の実現などによる長崎空港とその周辺の活性化

・長崎空港発着の国際線(上海線・香港線)の利用促進や安定的な運航支援の実施。また、LCC等新たな国際定期航空路線の開設や国際チャーター便の増便に向けた取り組みを進める。
 ・長崎空港の24時間化を目指して運用時間延長に向けた活動を実施。また、空港を活用した施設の整備や仕組みづくり等により空港周辺の活性を図る。

2 県との役割分担

県の役割	団体の役割
・定期路線の利用促進や運航支援の実施。新規路線・チャーター便の誘致や航空貨物便の誘致など。 ・運用時間延長に係る深夜早朝便の誘致の実施、延長に係る各種課題の解決など。	・国際航空貨物に係るハンドリング業務の実施。航空貨物増加のための営業活動の実施 ・運用時間延長に対応した国際貨物に対する対応等。
法人に委ねる理由	説明
<input type="checkbox"/> 県が直接実施するよりも効果的・効率的に事業実施可能	・国際航空貨物を長崎空港で取り扱っていくため、長崎国際航空貨物ターミナル(株)が設立されている。民間事業者として効果的・効率的に運営しており、県が直接実施することは困難な業務である。
<input type="radio"/> 県が直接実施することが困難	
<input type="checkbox"/> その他	

3 事業実施状況

事業名	事業概要	事業費(千円)	主な実績	事業の評価、今後の方向性
1 航空貨物取扱事業	国際航空貨物取扱に係わる事業	-	貨物保管料・ターミナル料金外	長崎空港利用推進等による貨物の誘致、保税蔵置場の効率利用に努める。
2 国内貨物取扱事業	離島産品貨物輸送に係わる事業	-	離島産品貨物輸送手数料	利用者や取扱量の拡大が必要である。
3 販売事業	離島産品販売に係わる事業	-	離島産品販売代	取扱品目や販路の拡大が必要である。

【共通】

5. 中期経営計画等の進捗状況・事業目標の達成状況									
◎ 達成 ○ 一部達成 × 未達成 - 未実施									
No.	項目名	R4実績	計画上の目標値				最終年度(R)	達成状況	
		R2	R3	R4					
	収支改善の推進	18.9百万	1.0百万	2.7百万	2.9百万			◎	
	(目標値設定の根拠・考え方)								
	① 収益性を向上させるとともにコストの削減、抑制に努め、収益改善を図る。 (翌年度に向けての改善事項等) テナント誘致を行い、収益安定を図る。								
No.	項目名	R4実績	計画上の目標値				最終年度(R)	達成状況	
	(目標値設定の根拠・考え方)								
	② (翌年度に向けての改善事項等)								
No.	項目名	R4実績	計画上の目標値				最終年度(R)	達成状況	
	(目標値設定の根拠・考え方)								
	③ 県の重要な物流拠点として、安全、安心で利便性の良い貨物ターミナル施設の運営を進める。 (翌年度に向けての改善事項等) 安全、安心で利便性の良い貨物ターミナル施設運営を実施するため、空調施設についても、カーボンニュートラルに配慮した省エネ対応の更新工事を実施予定。								
No.	項目名	R4実績	計画上の目標値				最終年度(R)	達成状況	
	(目標値設定の根拠・考え方)								
	④ 業務の見直しや効率化による業務負担の軽減を図る。 (翌年度に向けての改善事項等) 現在も行っている定常業務の文書化、マニュアル化を整備し、業務共有化を進めていく。								
No.	項目名	R2	R3	R4	備考		達成状況		
	① ターミナル施設賃借事業	(計画)	86.5百万	88.8百万	90.1百万				
		(実績)	86.3百万	81.4百万	92.2百万				
	② 国際航空貨物取扱事業	(計画)	0.5百万	1.1百万	1.2百万				
		(実績)	0.04百万	0.08百万	0.1百万				
	③ 国内航空貨物取扱事業	(計画)	0.1百万	0.2百万	0.3百万				
		(実績)	0.3百万	0.1百万	0.9百万				
(県が期待する効果の実現)									
評価結果					評価理由				
	十分実現している		収益の大半を賃貸事業収入に頼っているものの、コロナ禍の影響により中断していた長崎⇄上海便が10月30日から再開したことに伴う鮮魚等の輸出貨物の取扱増、またクルーズ船寄港の再開等に伴い、羽田、成田空港経由の保税転送輸入貨物も確保する等、それぞれの就航状況を見ながら貨物の取扱量を増やす方策を進めていく必要がある。						
	概ね実現しているが未実現の部分がある								
	実現できていない								
(計画達成状況の判定)									
判定項目			評価基準				点数		
	① 中期経営計画の策定		[2点]中期経営計画(計画期間3年以上)を策定している				2		
	② 中期経営計画の目標達成		[1点]目標を1項目達成 [2点]2項目以上達成				2		
	③ 事業目標の達成		[1点]事業目標を1項目達成 [2点]2項目以上達成				2		
	④ 県が期待する効果の実現		[1点]効果を概ね実現している [2点]十分実現している				1		
			合計				7		

【共通】

7. 経営内容及び事業活動についての総合判定			
(団体の自己評価)			
「計画達成状況」「財務状況」の合計点数	5.0	➡	総合判定 A
5点以上:A 概ね良好	-4点以上5点未満:B 改善の余地あり		-4点未満:C 一層の努力が必要
※事業活動・経営内容の評価・今後の課題及び改善事項等			
R4(2022)年度の長崎空港発着の国内航空貨物は累計で4,138tと前年比で60.3%増加しているものの、R1(2019)年度比では33.8%に留まりました。また国際便について長崎・上海の定期便であった中国東方航空がR5(2023)年10月29日まで運休のため、貨物取扱収入は伸びませんでした。一方、テナントの賃貸事業に関しては空港拡張工事業者の入居により大きく収入を伸ばしました。10月30日以降の長崎・上海の定期便再開を視野に顧客、航空貨物代理店へのアプローチを進めるとともに、引き続きテナントの空き室の誘致についても貨物代理店を中心に進めてまいります。			
(県の評価)			
合計点数	5.0	※評価の内容、県評価での加点・減点、総合判定の理由 (加点・減点を行う場合は、点数及び理由を具体的に記載ください。)	
総合判定	A	大型客船建造の機械部品や資材の輸入及び旅客好調に起因する上海向け鮮魚輸出が減少し、これにより貨物取扱収入も減少傾向にあるなか、依然として収益の大半を賃貸事業に依存している。しかしながら長崎空港からの国際航空貨物の輸出入に必要な会社であり、今後も、会社の主要事業である国際貨物を中心に安定的な増収を図るため、10月30日からの長崎=上海線の再開を契機に、荷主や物流事業者等へ働きかけていくなどの方策を積極的に模索する必要がある。	
(今後の県の関与の方針)			
国際航空貨物の取り扱いについては、専門的な業務であり、民間事業者である(株)長崎国際航空貨物ターミナルにより効率的・効果的に実施していく必要がある。長崎空港の24時間化を図り、空港の利便性を向上していくため、NIACTや物流事業者等の関係者と連携した貨物増加対策を実施していく必要がある。			